

早期発見, 治療が重要

限局がん (ステージII)

進行

局所浸潤がん (ステージIII)

遠隔転移がん (ステージIV)

無症状

早期発見し、適切な治療をすることで予後良好
5年生存率: 100%

前立腺肥大症と同じような症状が出現

5年生存率: 99.2%

※排尿困難・残尿感
※排尿時痛
※血尿 血精液症

※腰痛
※四肢の痛み
※骨、リンパ節に転移

ホルモン治療抵抗性獲得

5年生存率: 53.4%

がん研究振興財団: がん統計2022, P99

前立腺がんは多くの場合、比較的ゆっくり進行し、手術や内分泌(ホルモン)療法など確立された治療法も存在するため、早期に発見し適切な治療をすれば、良好な予後が期待できます。

しかし発見が遅れ進行すると5年生存率は、53.4%と著しく低下してしまうことから、早期発見が非常に重要です。

2022年8月22日 前立腺癌の診断補助検査項目として薬事承認

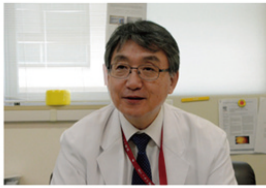
2022年9月26日 記者会見

2022年9月27日 新聞報道

2023年3月25日…全国に報道され問い合わせが殺到



朝日新聞デジタル > 記事
医療サイト 朝日新聞アピタル トップ 記事一覧 連載
「グレーゾーン」が多い前立腺がん検査 弘前大などが新たな手法開発
土肥修一 2023年3月25日 10時41分



弘前大の大山力教授=2023年3月8日、青森県弘前

男性のがんで患者が多い前立腺がんについて、弘前大(青森県弘前市)を中心とする研究グループなどが、新たな血液検査の手法を開発した。患者のがんかどうかを区別できる精度が、これまでの検査よりも高く、負担の大きな精密検査に進む患者を減らすことが期待される。

2023年4月 評価療養開始・・・月20-30件で施行中
自己負担約7000円

2024年2月 保険適用

※厚生労働省から2024年2月1日付けでミュータスワコーS2,3PSA・i50(保険点数248点)にて保険適用(下図)され、臨床現場で使用可能となりました。

臨床検査の保険適用について (令和6年2月収載予定)

	測定項目	測定方法	参考点数	頁数
①	E3 (新項目) ミュータスワコー S2,3PSA・i50	LBA 法(定量)	D009 9 前立腺特異抗原 (PSA) 124 点 2回分	2
②	E3 (新項目) 東レ APOA2-iTQ	ELISA 法(定量)	D009 腫瘍マーカー 2 癌胎児性抗原 (CEA) 99 点 D009 腫瘍マーカー 7 DUPAN-2 118 点 2回分	5
③	E3 (新項目) ケミルミ TIMP-1	化学発光免疫測定法(定量)	D007-48 Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体、マロ ンジアルデヒド修飾 LDL (MDA-LDL)、オ ートタキシン	8

中医協 総-4-2
6 . 1 . 2 6

前立腺がんの特徴

- 男性がんで一番罹患数が多い
- 高齢男性が多い
- 進行が比較的ゆるやか
- 早期であれば根治が可能
- ホルモン療法が有効、だが耐性化も
- 治療後の経過が極めて長い
- PSA検査が診断、治療効果モニタリングに有効

今年2月。弘前大学と富士フイルム和光純薬が共同で開発したがん検査が、国産の前立腺がん腫瘍マーカー検査として初めて保険適用になりました。

弘前大学で研究にあたったのは、大学院医学研究科 先進移植再生医学講座の大山特任教授と泌尿器科学講座の畠山教授、糖鎖工学講座の米山助教らの研究チーム。

これまでの検査は、前立腺で作られるタンパク質「PSA」の量を測っていましたが、グレーゾーンと呼ばれる領域では、がん以外の病気でも陽性反応を示す問題がありました。

新たな検査法では、「PSA」の量ではなく構造に着目。従来の検査と比べ2倍ほどの高い精度で前立腺がんを識別できます。

弘前大学と富士フイルム和光純薬が共同で開発した前立腺がん腫瘍マーカー検査が国産として初めて保険適用に！

071 弘前大学と富士フイルム和光純薬が共同で開発

弘前大学と富士フイルム和光純薬が共同で開発 070